

カリキュラム・マップに基づいた教育課程の検証結果 (一般教育等)

○令和5年度の前期科目・通年科目についての教育課程の適切性の検証結果は次のとおりである。

(検証事項：内容の適切性、隣接科目との内容の重複、開講時期、GIO との整合性、カリキュラムの問題点等)

【成果・できていること】

- ・概ねディプロマポリシーに基づいた教育がなされていると考えられる。
- ・昨年度検討事項として挙げられた「複数の選択科目の同時開講によって一部の学科の履修者が少なくなっている」点について、特に過密であった月曜4限の4科目から1科目を別の曜日に移動することとした。

【課題・できていないこと】

- ・「生物学」(全学科・1年前期)において、こども学科の学生の履修が少ない旨、担当講師より指摘があった。
- ・昨年度検討事項であった開講時期の変更により教育効果が高まると考えられる科目について、未対応の科目があるが、現状の時間割が過密であり、時間割の変更が困難になっている。

【その他・今後の検討事項等】

- ・「生物学」(全学科・1年前期)については、現在同時に開講されている科目におけるこども学科学士の履修が偏っていることから、時間割の調整やシラバスの修正などを検討していく。
- ・科目名称について、授業の内容を反映しているかを検証し、必要に応じて、学生が理解しやすいワードを用いた名称変更を検討していく。